

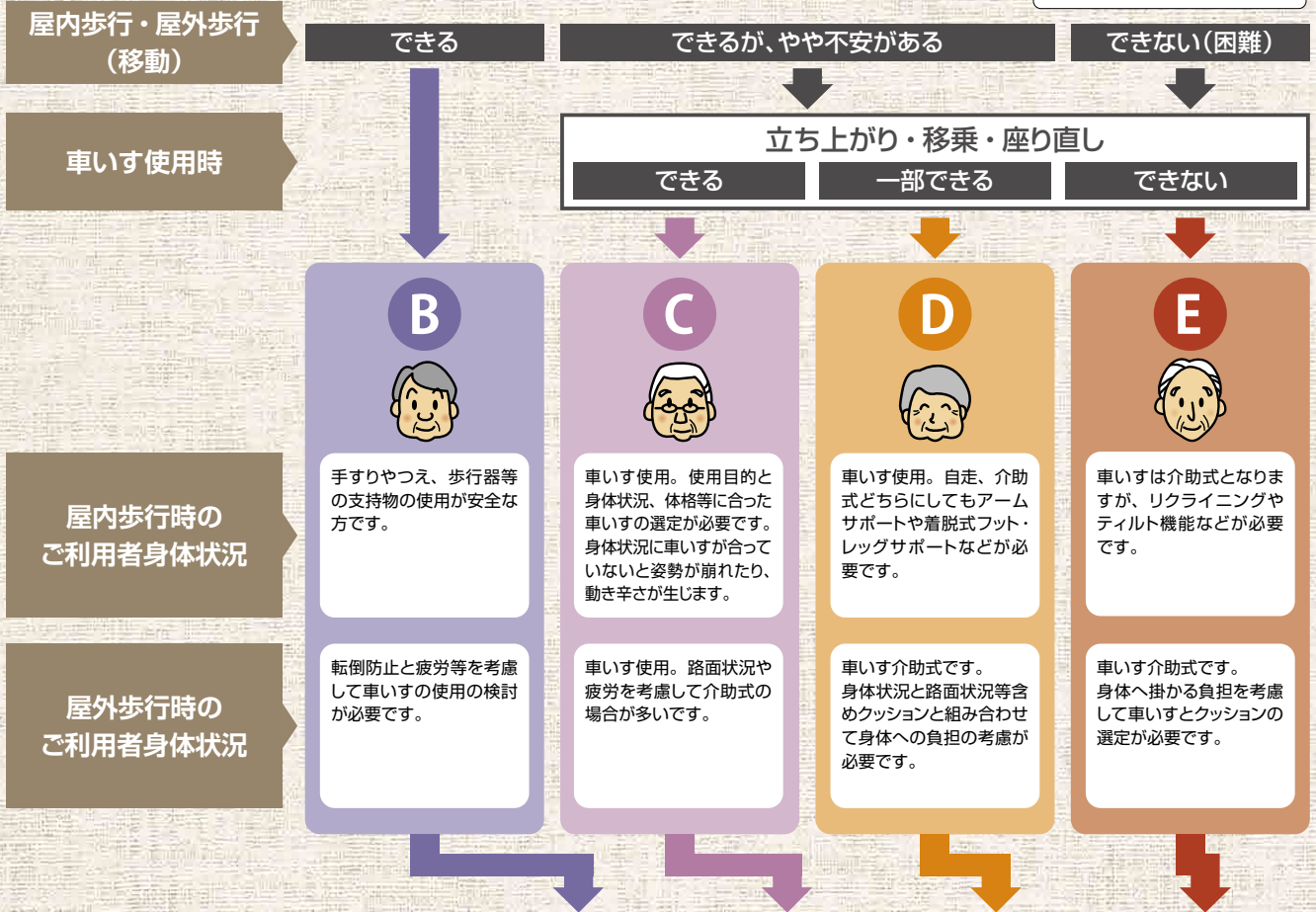
車いす

車いすを使用することで、外出や長い距離の移動を快適にするとともに、介助者の負担も軽減することができます。

利用者状態別選定ポイント

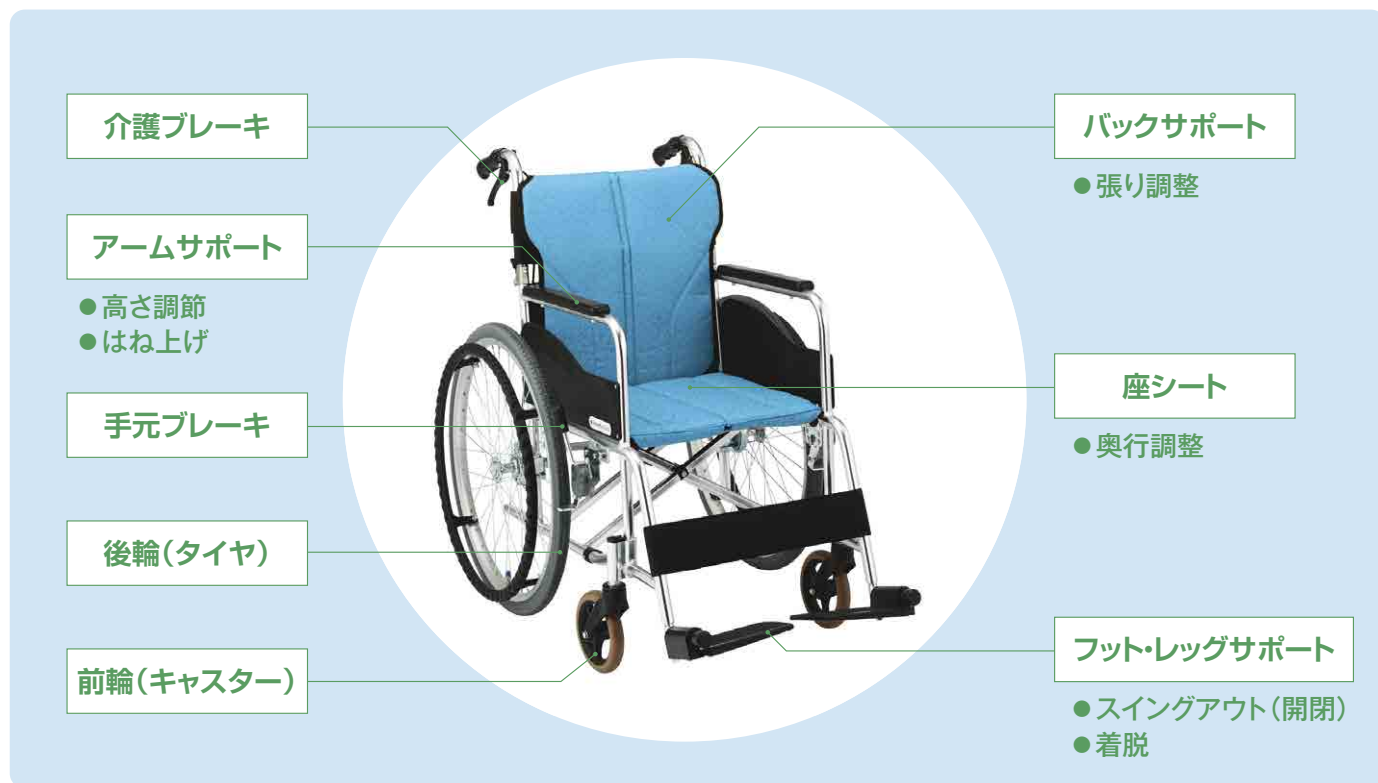
車いすは、屋内で使用する場合と屋外で使用する場合とでは、使用される時間や環境が異なるため、選択するポイントが変わってきます。ご使用者の身体状況や介護環境と合わせて、慎重に選定する必要があります。

このマークを目安に選べます



	車いすの種類	車いすのイラスト	選定ポイント				
			屋内	屋外	立ち上がり・移乗・座り直し	一部できる	できない
手動車いす	自走式 参照 P.60 ご本人が操作して駆動させるタイプ		○	○	○	○	
			○	○	○	○	
	介助式 参照 P.66 介助者が押して駆動させるタイプ		○	○	○	○	
			○	○	○	○	
	リクライニング式 ティルト式 参照 P.68 リクライニング/ティルト機能付き		○			○	○
			○			○	○
電動車いす	電動 参照 P.72 操作レバーによる駆動/介助者による操作が可能なタイプも		○	○	○	○	
			○	○	○	○	
	電動カート 参照 P.72 ハンドル操作で駆動 歩行者扱い		○				
			○				

車いすの名称と機能



車いすシーティングについて

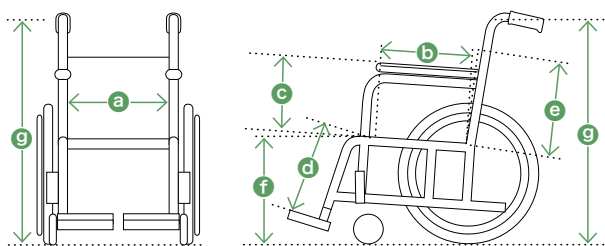
利用者様の身体サイズ・身体機能・使用方法・環境などに車いすのサイズ・機能を適合させる(他の福祉用具やクッションなどを併用する場合があります)ことを車いすシーティングといいます。

車いすシーティングには一定の知識・技術が必要ですので、専門家にご相談ください。

身体寸法と車いす寸法の合わせ方の目安

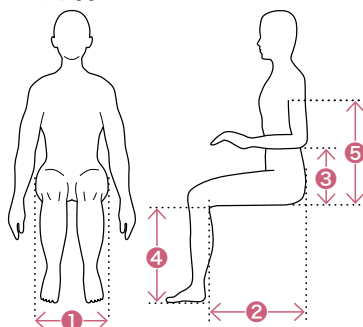
a 座シート幅	① 座位臀幅に0~3cmを足します。
b 座シート奥行	② 座底長から5~7cm引きます。
c アームサポート高さ	③ 座位肘頭高に1~2cm足します(必要に応じてクッションの厚さを加えます)。
d フット・レッグサポート長さ	④ 座位下腿長(必要に応じてクッションの厚さを引きます)に合わせます。
e バックサポート高さ	⑤ 座位腋下高から7~10cm引きます(必要に応じてクッションの厚さを加えます)。
f 前座高	④ 座位下腿長に2~5cm足します(必要に応じてクッションの厚さを引きます)。
g グリップ高さ	介護者のへそ~股関節の高さに合わせます。

■車いす寸法



- a** 座シート幅
- b** 座シート奥行
- c** アームサポート高さ
- d** フット・レッグサポート長さ
- e** バックサポート高さ
- f** 前座高
- g** グリップ高さ

■身体寸法



- ①** 座位臀幅(ざいでんぷく)
臀部の一番広い幅
- ②** 座底長(ざいでんちよう)
臀部後端から膝裏までの長さ
- ③** 座位肘頭高(ざいちゅうとうこう)
座面から肘までの高さ
- ④** 座位下腿長(ざいかたいちよう)
足の裏から膝裏までの高さ
- ⑤** 座位腋下高(ざいえきかこう)
座面から腋の下までの高さ

特殊寝台

特殊付属品

床ずれ防止用具

体位変換器

徘徊感知機器

手すり

歩行補助具

歩行器

車いす

車いす付属品

スロープ

移動用リフト

鳥糞処理装置

購入品(入浴)

購入品(排泄)